

# 令和 6 年度 統計リソース建議に関する予算案等の状況 (統計委員会建議 (R5.5.30)において重点配分すべきとされた取組)

令和 6 年 3 月  
総務省政策統括官 (統計制度担当)

# 統計リソース建議に関する予算案等の状況（概要）

統計リソースの重点的な配分に関する建議（令和5年5月30日統計委員会）において、統計リソースを重点的に配分すべきとされた取組に関する予算・人員の状況は、次のとおり。

**予算：49.1億円**（令和6年度予算案：37.4億円、令和5年度補正予算：11.7億円）

## <重点分野別 予算額>

- |                                  |        |
|----------------------------------|--------|
| • 社会経済の変化に対応する公的統計の整備、国際比較可能性の向上 | 8.3億円  |
| • 品質の高い統計作成のための基盤整備              | 22.1億円 |
| • 統計データの利活用促進、正確かつ効率的な統計の作成      | 11.5億円 |
| • 公的統計のDXの推進                     | 12.7億円 |
| • 調査票情報の二次的利用に係るシステムや統計の整備       | 8.2億円  |
| • 業務改革、働き方改革の推進                  | 2.3億円  |
| • 国際的な動向の把握と連携・強調の確保             | 2.7億円  |

※ 複数の項目に該当するものがあるため、上記7分野の各項目の合計は、総計（49.1億円）と一致しない。

## 機構：室長、調査官（いずれも総務省）

- 室長1（「魅せる」コンテンツの作成・提供による統計データ利活用推進のための体制整備）
- 調査官1（経済統計の品質向上・デジタル化・体系的整備を推進するための体制整備）

## 定員：新規増16人（うち時限7人）、振替72人

- 調査票情報の二次的利用の抜本的見直し・迅速化等のための緊急的な体制整備（総務省）（新規7人（うち時限6人））
- データ分析による農林水産統計の利活用推進のための体制整備（農林水産省）（振替63人）

# 【予算】令和6年度 重点分野の項目別予算案等（府省別）

（令和6年度予算案、令和5年度補正予算）

予算

49.1億円（令和6年度予算案：37.4億円、令和5年度補正予算：11.7億円）

（単位：億円）

府省名	合計	統計リソースの重点的な配分に関する建議の重点分野項目								
		(1) 第IV期 基本計画の推 進	① 社会経済の 変化に対応する 公的統計の整 備、国際比較可 能性の向上	② 品質の高い 統計作成のため の基盤整備	③ 統計データ の利活用促進、 正確かつ効率 的な統計の作 成	(2) 業務の集中 的な見直しの実 施	① 公的統計の DX推進	② 調査票情報 の二次的利用 に係るシステム や体制の整備	③ 業務改革、 働き方改革の 推進	(3) 国際的な動 向の把握と連 携・協調の確保
内閣府	1.9	1.9	1.9	1.3						1.3
総務省	14.8	14.6	5.0	2.8	9.7	8.1	1.7	7.9	0.01	1.5
文部科学省	0.9	0.9		0.7	0.2					
厚生労働省	17.0	17.0	1.1	15.3	0.5	0.9		0.4	0.5	
農林水産省	11.1	1.6		0.7	0.9	9.6	9.6			
経済産業省	1.3	1.3		1.3		1.3	1.3			
国土交通省	2.1	0.3	0.3	0.1	0.2	1.9	0.2		1.8	
合計	49.1	37.5	8.3	22.1	11.5	21.8	12.7	8.2	2.3	2.7

注1 個別の事業費から建議の取組に係る予算を切り出せない場合もあり、予算額には個別の事業費の総額をそのまま計上したものが含まれている。

注2 複数の項目に該当するものがあるため、各府省の各項目の合計は、「合計」欄の額に一致しない。  
（「合計」欄の額が、各府省における予算の実額を表す。）

注3 デジタル庁が一括計上する統計関係システムに係る経費については、当該システムに係る統計調査等を所管する府省の要求額に含んでいる。

# 【定員】令和6年度 重点分野の項目別予算案等（府省別）

定員

新規増16人、振替72人

（単位：人）

府省名	合計	統計リソースの重点的な配分に関する建議の重点分野項目								
		(1) 第IV期 基本計画の推 進	① 社会経済 の変化に対応 する公的統計 の整備、国際 比較可能性の 向上	② 品質の高 い統計作成の ための基盤整 備	③ 統計デー タの活用促 進、正確かつ 効率的な統計 の作成	(2) 業務の集 中的な見直し の実施	① 公的統計 のDX推進	② 調査票情 報の二次的利 用に係るシス テムや体制の整 備	③ 業務改革、 働き方改革の 推進	(3) 国際的な 動向の把握と 連携・協調の確 保
人 事 院	(1)	(1)			(1)	(1)			(1)	
内 閣 府	1	1	1							
警 察 庁	(2)	(2)		(2)						
総 務 省	14	13	3		10	9	1	8		1
厚生労働省	1 (5)					1 (5)	1 (5)			
農林水産省	(63)	(63)		(63)	(63)					
環 境 省	(1)	(1)		(1)	(1)	(1)		(1)		
合 計	16 (72)	14 (67)	4	(66)	10 (65)	10 (7)	2 (5)	8 (1)	(1)	1

注1 振替による増員人数は（ ）書きとした。

注2 複数の項目に該当するものがあるため、各項目の人数を合算したものは「合計」欄の人数とは一致しない。  
 （「合計」欄の人数が、各府省に措置された人数を表す。）

# 統計リソース建議に関する予算案等の状況（項目別：主な事項①）

## （1）第Ⅳ期基本計画の推進

項目	予算	定員
① 社会経済の変化に対応する公的統計の整備、国際比較可能性の向上	<p><b>【内】国民経済計算（0.7億円）</b> 国民経済計算の四半期別速報（QE）の精度向上、SUT体系への移行等に関する調査研究</p> <p><b>【内】統計作成手法改善に向けた横断的検討、GDP統計の改善に関する研究等統計体制の基盤強化（1.3億円）</b> GDP統計に関する国際基準策定プロセスへの参画、デジタル経済・グリーン成長に関する統計・指標の研究等</p> <p><b>【総】サービス産業動態統計調査（1.5億円）</b> サービス産業の事業活動の動態を明らかにする新たな月次の基幹統計調査の創設</p> <p><b>【総・経】令和8年経済センサス－活動調査 試験調査（1.4億円）</b> 令和3年調査時の実施状況を踏まえて見直しを行う調査事項、調査票及び調査事務等について実地の検証を行うための試験調査の実施</p>	<p><b>【内】国際基準への更なる対応に関する実施体制の整備（新規1人）</b></p> <p><b>【総】サービス業に関する新たな基幹統計調査の創設に伴う体制整備（新規2人）</b></p> <p><b>【総】社会経済情勢の変化に対応した公的統計の整備・改善を推進するための体制整備（新規1人）</b></p>
② 品質の高い統計作成のための基盤整備	<p><b>【総】オンライン研修等による統計人材の育成・充実（0.7億円）</b> 質の高い統計データの作成及びそれらを有効活用できる統計人材の育成・充実のためのオンライン研修の実施、コンテンツの強化（リニューアル及びメンテナンス）</p> <p><b>【総】公的統計基本計画等推進費（1.5億円）</b> 統計監理官による統計作成プロセス診断の実施等</p> <p><b>【厚】厚生労働省統計処理システムの更改に係る設計開発及び運用保守業務（12.5億円）</b> 「ドキュメントの適正管理」、「クラウド利用の推進」、「ノンプログラミングツールの活用」、「データベース化」を中心とした、次期統計処理システムへの更改に向けた設計開発及び運用保守（今回の更改では、まず「クラウド利用の推進」を実現）</p> <p><b>【国】統計改革の基盤整備、品質改善等（0.05億円）</b> 「国土交通省統計改革プラン」を踏まえた省横断的な所管統計全般の点検・企画立案・品質改善の実施</p>	<p><b>【警】犯罪統計分析業務強化（振替2人）</b></p> <p><b>【環】環境省所管の統計調査を推進するための体制強化（振替1人）</b></p>

注1) 【内】：内閣府、【警】：警察庁、【総】：総務省、【厚】：厚生労働省、【経】：経済産業省、【国】：国土交通省、【環】：環境省

注2) 予算額は、令和6年度予算案と令和5年度補正予算額を合計したもの

# 統計リソース建議に関する予算案等の状況（項目別：主な事項①）

## (1) 第IV期基本計画の推進（続き）

項目	予算	定員
<p>③ 統計データの利活用促進、正確かつ効率的な統計の作成</p>	<p><b>【総】統計データ利活用の推進（0.2億円）</b> e-StatにおけるAPI機能や統計GIS、統計ダッシュボードの提供、データベース化した統計の拡充等</p> <p><b>【総】統計基盤デジタル化推進等経費（6.4億円）</b> 利用者自身の拠点から専用の仮想環境による調査票情報の閲覧を可能とするリモートアクセスの整備</p> <p><b>【総】公的統計基本計画等推進費（再掲）（1.5億円）</b> ビッグデータ・ポータル機能強化、ビッグデータの試験的な利用の実施に向けた検討等</p> <p><b>【厚】調査票情報等利活用推進事業（0.4億円）</b> オンサイト施設で利用可能な調査票情報の拡充</p> <p><b>【厚】介護サービス施設・事業所調査負担軽減調査事業（0.2億円）</b> 記入者負担軽減のため、行政記録情報を用いた調査項目の代替可能性について調査研究</p>	<p><b>【人】</b>統計の品質向上等のための体制整備（振替1人）</p> <p><b>【総】</b>「魅せる」コンテンツの作成・提供による統計データ利活用推進のための体制整備（新規2人）</p> <p><b>【農】</b>データ分析による農林水産統計の利活用推進のための体制整備（振替63人）</p>

注1) 【人】：人事院、【総】：総務省、【厚】：厚生労働省、【農】：農林水産省

注2) 予算額は、令和6年度予算案と令和5年度補正予算額を合計したもの

# 統計リソース建議に関する予算案等の状況（項目別：主な事項②）

## （2）業務の集中的な見直しの実施

項目	予算	定員
① 公的統計のDX推進	<p><b>【農】新技術を活用した実査手法の確立（0.3億円）</b> 作物統計調査における人工衛星を活用した水稻の作付判別手法の実用化に向けた実証</p> <p><b>【農】農林水産統計サブシステム（6.4億円）</b> 専門調査員が使用するタブレット端末を活用した指導業務・管理業務・実査の効率化</p> <p><b>【国】第8回(2025年度)全国幹線旅客純流動調査（令和5年度 総合的な交通体系の評価手法高度化業務）（ビッグデータを活用した幹線旅客流動の把握に関する高度化検討調査）（幹線旅客流動の把握に係るビッグデータ活用に関する調査検討）（0.2億円）</b> 訪日外国人の流動分析等、ビッグデータを活用した調査の補完・代替に向けた調査研究</p> <p><b>【総】統計調査の環境改善のための普及啓発活動（0.2億円）</b> 都道府県職員を対象としたデータ分析方法や分析結果の整理方法等に関する知識、技術に関する講義・実習等</p>	<p><b>【総】公的統計の整備におけるデジタル化推進のための体制整備（新規1人）</b></p> <p><b>【厚】国民生活基礎調査の更なるDX等を推進するための体制整備（新規1人（うち時限1人）、振替4人）</b></p> <p><b>【厚】毎月勤労統計調査オンラインシステム更改等における体制整備（振替1人）</b></p>
② 調査票情報の二次的利用に係るシステムや体制の整備	<p><b>【総】統計基盤デジタル化推進等経費（再掲）（6.4億円）</b> 調査票情報の二次的利用の迅速化・円滑化に資する利用申出手続のデジタル化</p> <p><b>【総】公的統計基本計画等推進費（再掲）（1.5億円）</b> 統計調査ごとの調査票情報の現状や違いを踏まえて、より効率的で効果的なデータの整備手法や手順等について検討</p> <p><b>【厚】調査票情報等利活用推進事業（再掲）（0.4億円）</b> 調査票情報の二次的利用の円滑化に資するダミーデータ等の作成・提供</p>	<p><b>【総】統計基盤デジタル化推進・高度化推進体制の強化（新規1人）</b></p> <p><b>【総】調査票情報の二次的利用の抜本的見直し・迅速化等のための緊急的な体制整備（新規7人（うち時限6人））</b></p>

注1) 【総】：総務省、【厚】：厚生労働省、【農】：農林水産省、【国】：国土交通省

注2) 予算額は、令和6年度予算案と令和5年度補正予算額を合計したもの

# 統計リソース建議に関する予算案等の状況（項目別：主な事項②）

## （2）業務の集中的な見直しの実施（続き）

項目	予算	定員
③ 業務改革、働き方改革の推進	<p><b>【総】統計調査審査業務支援システムの整備（0.01億円）</b> 統計審査業務に係る関連情報の一元的な管理・共有等</p> <p><b>【厚】厚生労働省統計研修事業（0.5億円）</b> 外部事業者の専門的知見を活用した統計研修の充実・強化、e-ラーニング・コンテンツの作成</p> <p><b>【国】建設工事統計調査（1.8億円）</b> 建設工事統計調査業務の民間委託及び民間企業の知見を活用した業務の効率化</p>	<p><b>【人】統計の品質向上等のための体制整備（再掲）（振替1人）</b></p>

## （3）国際的な動向の把握と連携・協調の確保

予算	定員
<p><b>【内】統計作成手法改善に向けた横断的検討、GDP統計の改善に関する研究等統計体制の基盤強化（再掲）（1.3億円）</b> GDP統計に関する国際基準策定プロセスへの参画等</p> <p><b>【総】公的統計基本計画等推進費（再掲）（1.5億円）</b> 「JAPAN SDGs Action Platform」（政府のウェブサイト）のメンテナンス（SDGs指標の作成方法、算出値等の掲載及び更新） 主観的Well-being測定手法の検討など、Well-beingに関する統計整備における諸課題の調査研究</p>	<p><b>【総】社会経済情勢の変化に対応した公的統計の整備・改善を推進するための体制整備（再掲）（新規1人）</b></p>

注1）【人】：人事院、【内】：内閣府、【総】：総務省、【厚】：厚生労働省、【国】：国土交通省

注2）予算額は、令和6年度予算案と令和5年度補正予算額を合計したもの

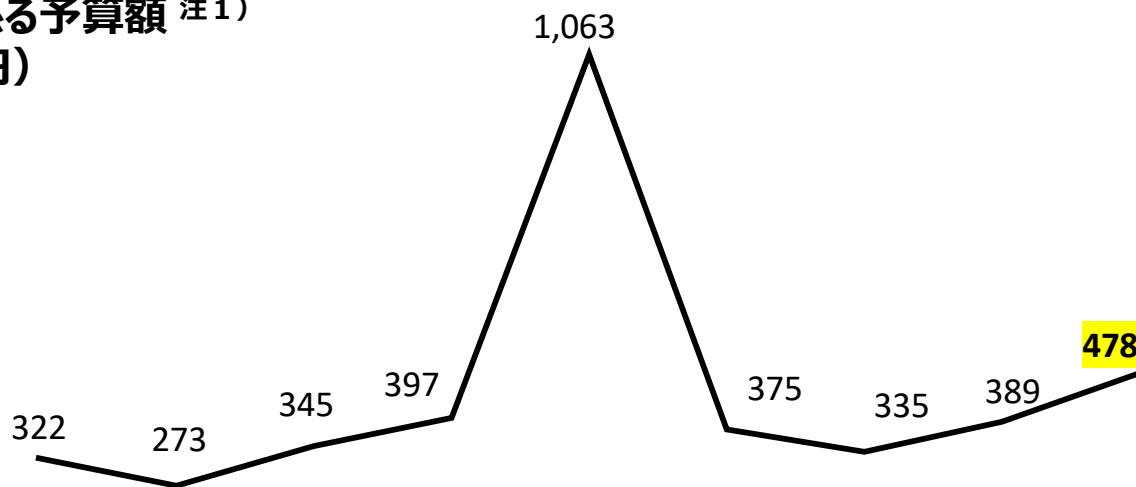


# 統計に係る予算額 及び 国の統計職員数 の推移 (参考1)

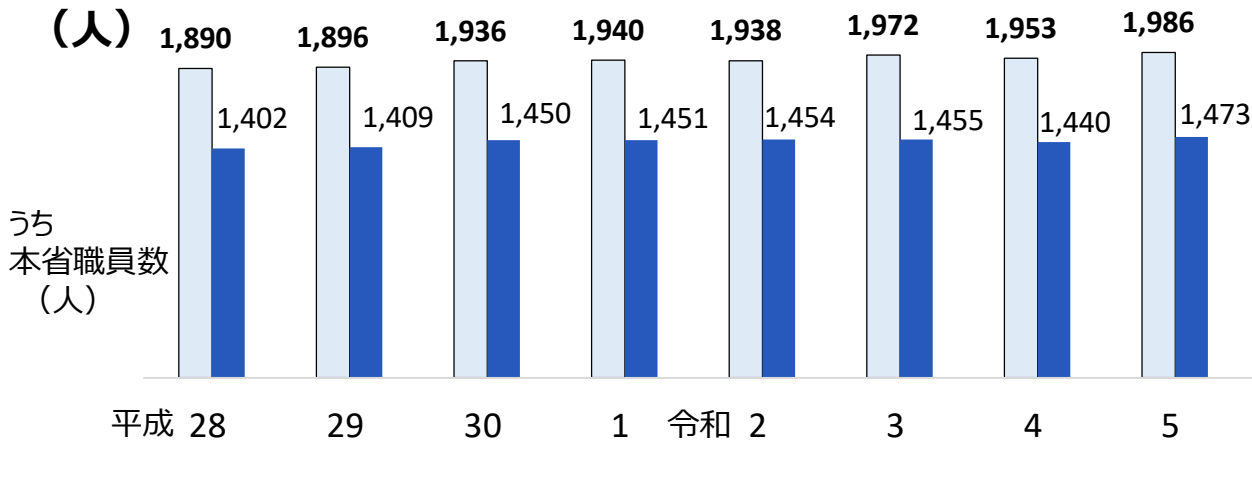
表 統計に係る府省別歳出予算の状況  
(単位：億円、%)

府省名	年度	令和6年度予算案	
		金額	構成比
内閣官房		0.4	0.1
人事院		0.2	0.0
内閣府		6.1	1.3
個人情報保護委員会		0.2	0.0
消費者庁		0.1	0.0
こども家庭庁		2.2	0.5
総務省		253.8	53.1
財務省		6.3	1.3
文部科学省		3.3	0.7
厚生労働省		60.9	12.8
農林水産省		97.8	20.5
経済産業省		29.1	6.1
国土交通省		14.8	3.1
環境省		2.4	0.5
計		477.6	100.0

## 統計に係る予算額 注1) (億円)



## 国の統計職員数 注2) (人)



注1) 建議関連以外の予算を含めた統計全体に係る当該年度予算額(同年度の補正予算額は含まない)。令和2年度予算額には、国勢調査実施経費(721億円)を含む。

注2) 毎年4月1日時点において国の統計機構に所属する職員の現在員数

# 行政記録情報等の統計作成への活用を通じた研究<sup>(参考2)</sup>

## 【第Ⅳ期公的統計基本計画別表】

統計委員会を中心に情報の共有や府省間の連携を強化しつつ、行政記録情報等の統計作成への活用を通じた研究・検討を推進する。(総務省、各府省)

## 【厚生労働省】介護保険法に基づく情報公表制度の情報等を活用した報告者の負担軽減

- **介護サービス施設・事業所調査**は介護サービスの提供体制、提供内容等の把握することにより、介護サービスの提供面に着目した基盤整備に関する基礎資料を得ることを目的として、平成12年から実施
- 厚生労働省では、統計調査に対する報告者負担を軽減するため、介護保険法の規定に基づく都道府県への報告（**介護サービス情報の公表制度※1**）の情報等を活用した、介護サービス施設・事業所調査の調査項目の削減や調査票へのプレプリントについて検討（令和3年～）

※1 利用者が介護サービスや事業所・施設を比較・検討して適切に選ぶための情報を都道府県が提供する仕組み。「介護サービス情報公表システム」を使うことで、誰でもインターネットで情報入手が可能。

### <これまでの成果>

介護サービス情報の公表制度の情報を活用し、令和4年調査より以下の見直しを実施

#### ① 調査項目の削減（累計で138箇所）

情報公表制度から得られる情報について、毎年情報が更新される性質ではない項目（定員等）について、本調査から削除

#### ② 情報公表制度等の情報をあらかじめ調査票に印字し配布（累計で644箇所）

引き続き本調査において把握が必要な項目のうち、従事者数など情報公表制度等から得られる情報について、あらかじめ調査票に印字して配布（いわゆるプレプリント）し、調査時点で更新の必要がある情報のみ書き換えを依頼

### <令和6年度の取組>

更なる報告者負担軽減を図る観点から、「介護サービス情報公表システム」に加え、「**介護保険総合データベース※2**」を用いた代替可能性や代替可能なデータ（情報）の把握・検証を行うことについて、調査研究を実施

※2 介護給付費明細書（介護レセプト）等の電子化情報を収集し、匿名化した上で、厚生労働省が管理するサーバー内へ格納（平成25年度（2013年度）から運用開始）。